

令和8年度  
第1回  
三重県地方創生検証会議

令和8年6月4日(木)

資料①

三重県の地方創生の取組



150th Anniversary

三重県誕生  
150周年

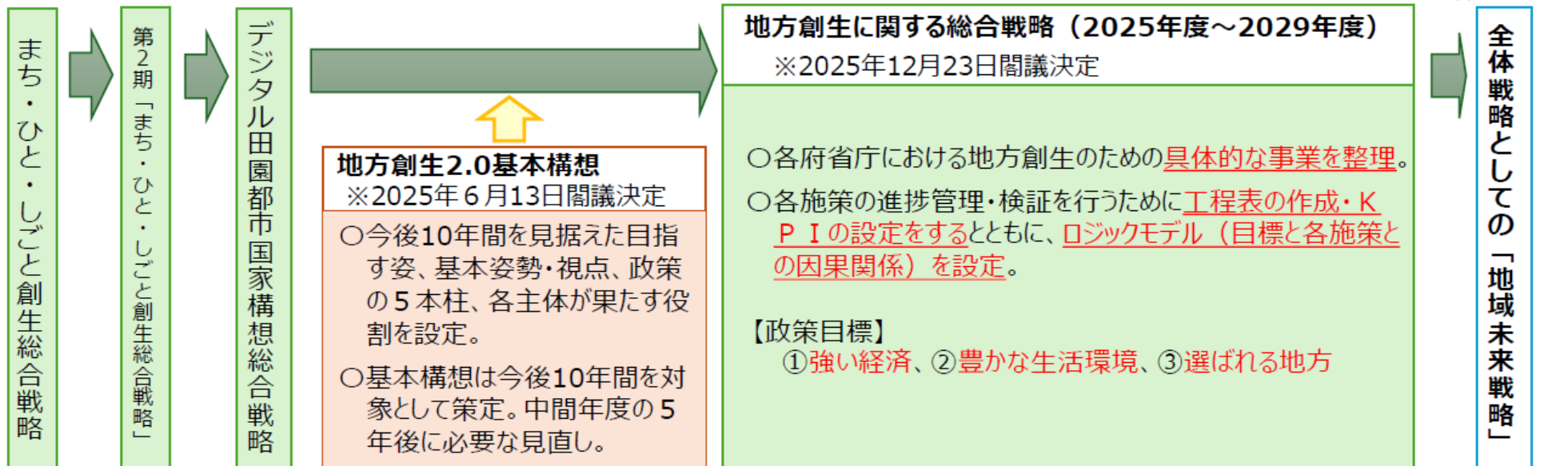
- 2014年に「地方創生」を開始して以降、まち・ひと・しごと創生法の下で、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための取組を進めてきた。
- 2025年6月には、「**地方創生2.0基本構想**」が閣議決定され、今後10年間を見据えた地方創生の方向性が定められた。
- 上記を踏まえ、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を変更し、「**地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～**」（2025年12月23日閣議決定）を策定。
  - ※まち・ひと・しごと創生法では、まち・ひと・しごと創生に関する目標及び施策に関する基本的方向並びに政府が講ずべきまち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定（閣議決定）することとされており、2014年以降、総合戦略を累次策定している。（基本的に毎年末に改訂）
- 本総合戦略で整理された施策を基盤に、「**強い経済**」の実現に力点を置いた全体戦略としての「**地域未来戦略**」を**2026年夏を目処**に取りまとめる。施策を追加することで、大きく3つのタイプのクラスターを推進。

2015年度  
～2019年度

2020年度  
～2024年度

2023年度  
～2027年度

2026年夏を  
目処に取りまとめ



# 三重県版まち・ひと・しごと総合戦略 「みえ元気プラン」

## 三重県の長期ビジョン「強じんな美し国ビジョンみえ」基本理念

将来世代も含めた県民の民さんが未来に希望を持ち、幸福を感じながら、**元気にかつ安全・安心に暮らすことができる持続可能な地域の実現をめざす。**

⇒この基本理念の実現に向けて中期の戦略計画「**みえ元気プラン**」（令和4年度～令和8年度）を策定

## 「みえ元気プラン」で一層加速させる取組 「7つの挑戦」

安全・安心の確保

魅力的な地域づくり

働く場の創出

①大規模災害に対応した防災・減災、  
県土の強靱化対策の加速・深化

②新型コロナウイルス感染症等への対応

③三重の魅力を生かした観光振興

④脱炭素化等をチャンスととらえた産業振興 ～  
「ゼロエミッションみえ」プロジェクト～

⑤デジタル社会の実現に向けた  
取組の推進

⑥次代を担う子ども・若者への  
支援・教育の充実

⑦人口減少への総合的な対応  
社会減対策、自然減対策、人口減少の影響への対応

結婚・出産・子育ての  
希望をかなえる

ひとの流れをつくる

「強じんな美し国ビジョンみえ」  
基本理念の実現

# 三重県の人口の推移①

三重県の総人口は2007年をピークに減少に転じ、減少率は徐々に高まっている。

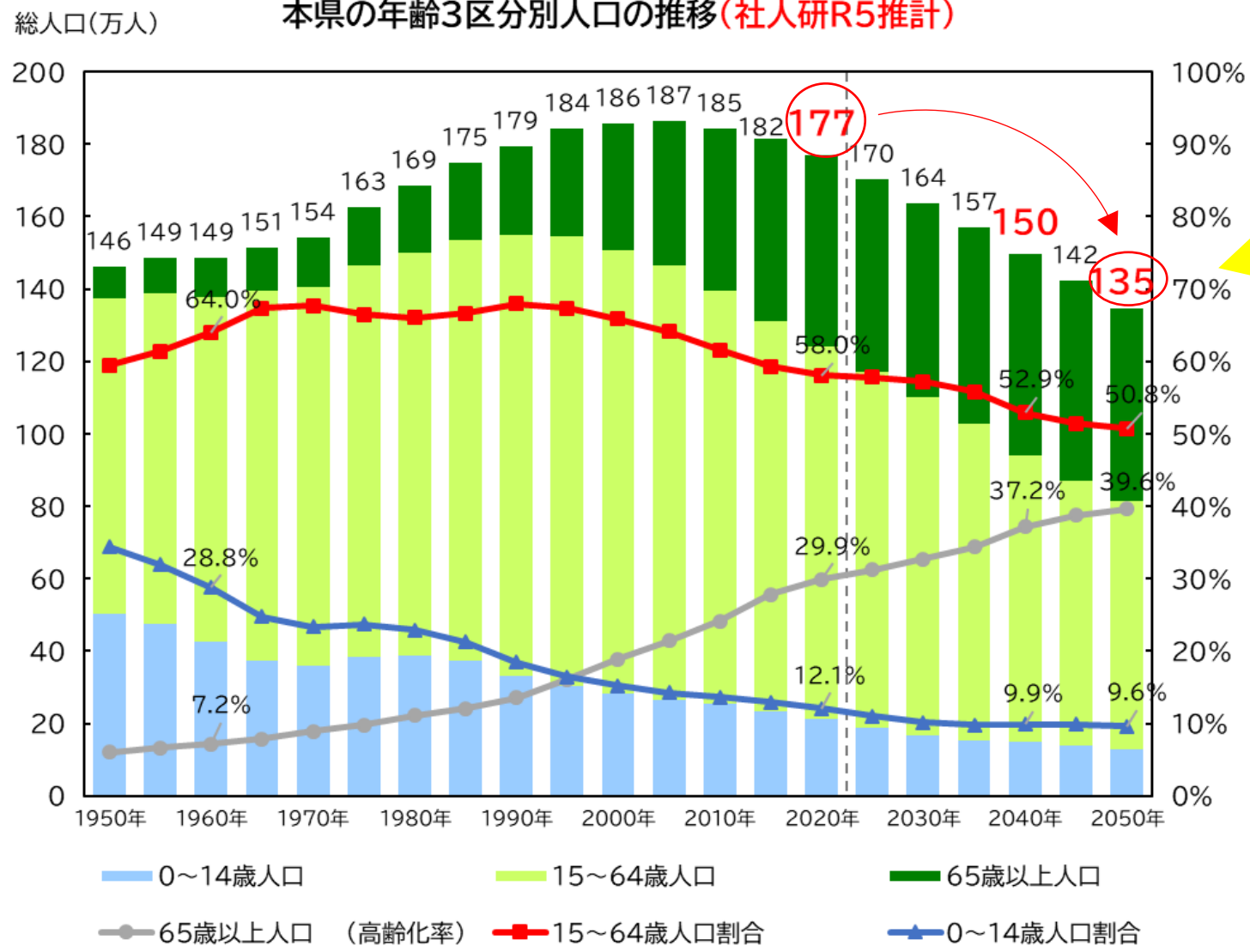
2005年～2010年  
▲0.66%

2010年～2015年  
▲2.10%

2015年～2020年  
▲2.51%

直近5年間で  
14.1%減少した町も

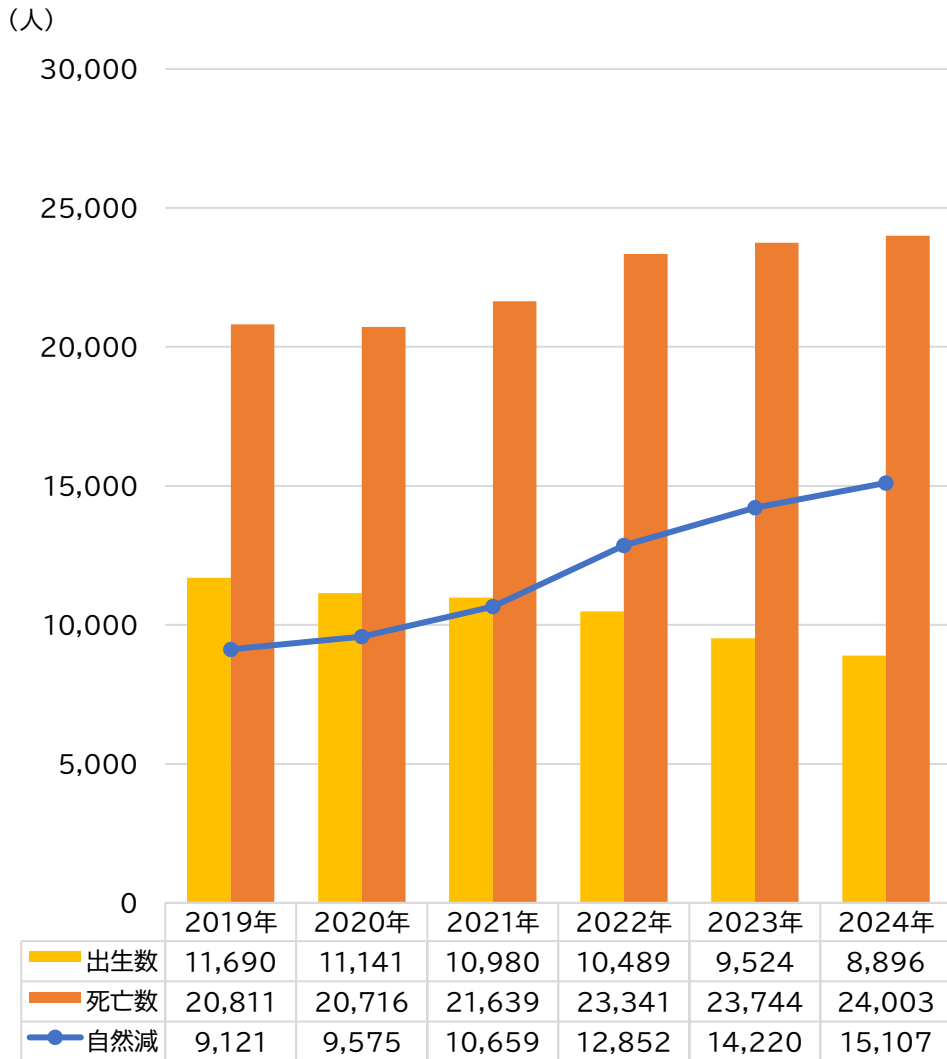
本県の年齢3区分別人口の推移(社人研R5推計)



30年で  
42万人減少  
(≒津市+松阪  
市人口相当)

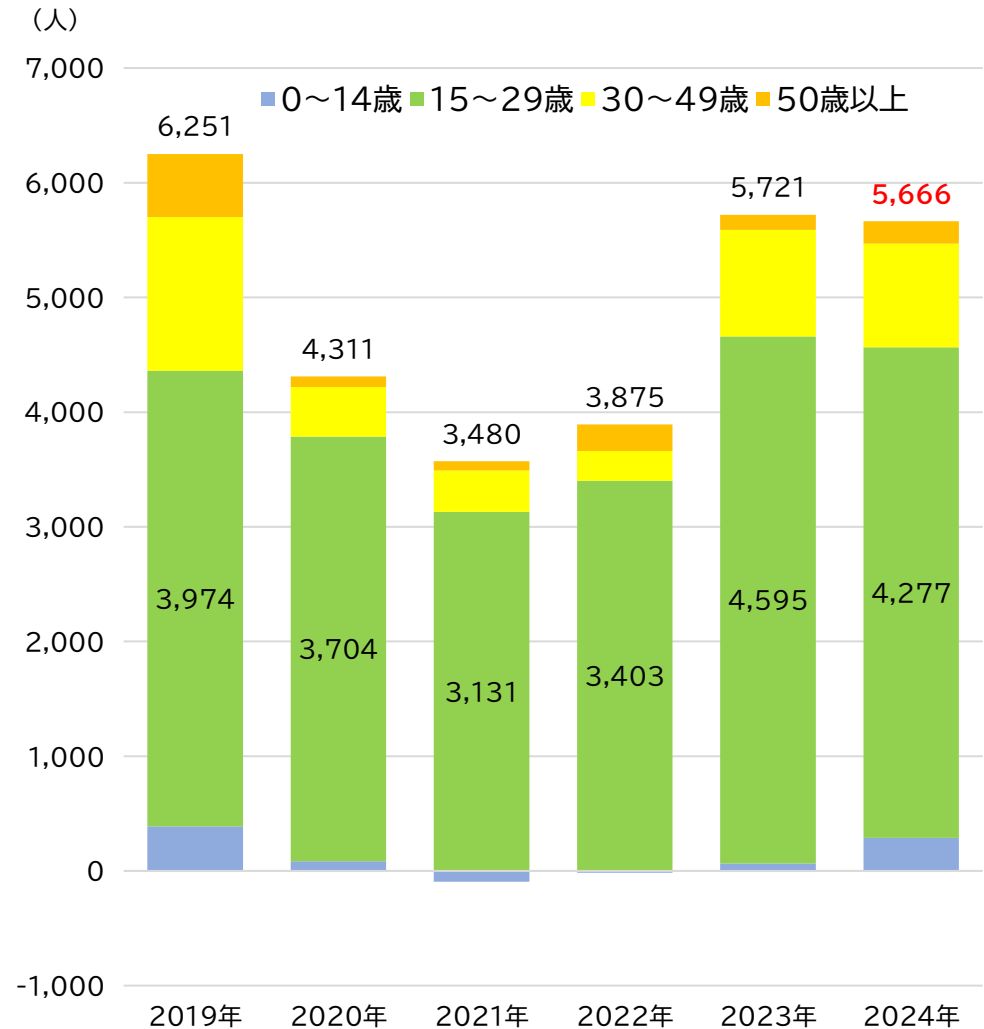
# 三重県の人口の推移②

## 出生・死亡数、自然減少数の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」

## 転出超過数の推移(年齢階級別)



※日本人移動者。マイナスは転入超過数  
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

# ご議論いただきたいポイント

## 令和7年度の三重県の取組に関する評価・検証

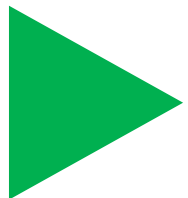
- これまでの三重県の取組に関して、評価を頂くとともに、さらなる取組の充実(足りない視点)などについて、ご助言を頂きたい。

## 国の戦略をふまえた取組について

- 国の「地方創生に関する総合戦略」をふまえ、これまでの取組の改善点や新たに取り組むべき事業などについて、ご助言を頂きたい。

## 学ぶべき先進事例について

- モデル地域をはじめとする他の自治体の先進事例に関して、本県の地域特性をふまえつつ、参考となる取組について、紹介・ご助言頂きたい。



**地方創生の取組を加速化・深化させる**